

熊本市上下水道事業経営基本計画

事業評価報告書(平成25年度) 概要版

お客さま

基本方針 1

上下水道の機能強化

上下水道の機能を強化してお客さまの快適な生活を支えます。

安全で
おいしい
水道水

良好な
生活環境の
保全



水質検査

水道の整備推進及び機能強化
下水道の整備推進及び機能保全
災害に強い上下水道の確立

基本方針 2

環境に配慮した 水循環社会の形成

環境に配慮した事業運営を行い、お客さまを取り巻く水の循環を守ります。

「地下水都市くまもと」
の水の循環



藻器堀川
遡上鮎

「地下水都市くまもと」の
水環境・水循環の保全
環境負荷低減策の推進

基本方針 3

お客さまを真ん中 にした事業運営

お客さまを真ん中にした事業運営を行い、お客さまのニーズに応えます。

疑問・ご要望・
ご意見・ご提言



運営審議会

信頼性・利便性の向上と
広報・広聴の充実
お客さまの参画と水に関
わる人たちとの連携・協働

基本方針 4

安定した事業経営

お客さまからいただいた料金を効率的に使い、安定した事業経営を行います。

水道料金
下水道使用料



庁舎一階フロア

経営基盤の強化
執行体制の整備と人材の育成

趣旨

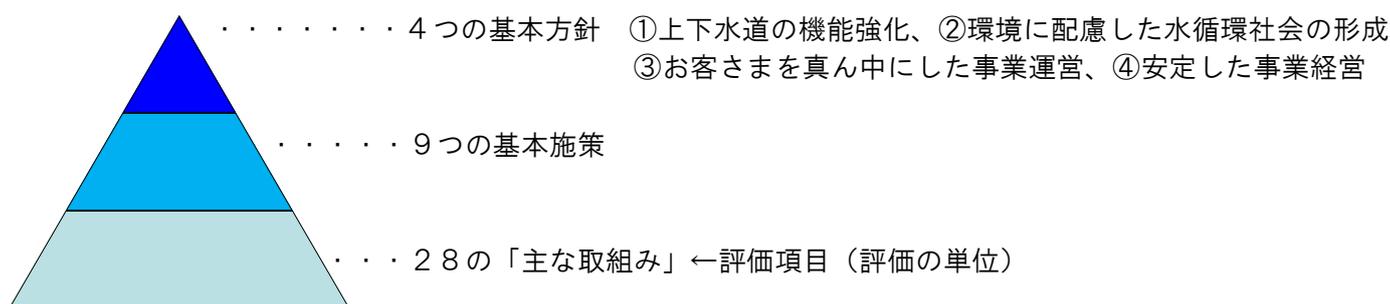
熊本市上下水道局では、平成24年3月に「熊本市上下水道事業経営基本計画」（計画期間：平成24年度～平成33年度）を策定し、事業を推進しています。事業の推進にあたっては、毎年度、主な取組みの実績や成果指標の動向をもとに検証を行い、今後の事業運営に活用することとしています。

このたび、平成25年度の事業評価結果がまとまりましたので、市民のみなさまに公表いたします。

事業評価の概要

■ 評価項目（評価の単位）

「熊本市上下水道事業経営基本計画」は、4つの基本方針のもと、9つの基本施策、28の「主な取組み」項目から成り立っています。事業評価は、「主な取組み」ごとに実施しています。



■ 成果指標

「主な取組み」ごとに、その取組みの内容や成果を客観的に評価できるよう「成果指標」を設けて評価を行いました。成果指標は、目標年次（主に平成33年度）に対する現時点での達成度を4段階で評価しています。なお、この概要版には、主な成果指標のみ記載しています。



目標をすでに達成している。



目標に向けて順調に推移している。



基準値は上回るが順調に推移していない。



基準値を下回っている。

「熊本市上下水道事業経営基本計画」、事業評価報告書（概要版）、事業評価報告書は、上下水道局ホームページに掲載しています。

熊本市上下水道事業経営基本計画

検索

または、URL：http://www.kumamoto-waterworks.jp/?article_cat=management

基本方針 1 上下水道の機能強化

■基本施策 1 水道の整備推進及び機能保全

1-1 水道施設の維持管理

老朽管の更新や漏水防止対策等の実施により、水道施設の維持管理を計画的に行っています。

●平成 25 年度実績

- ・老朽化した配水管の布設替工事（天明・京町地区など約 12.8km）
- ・漏水調査の実施（調査 2,644km、推定漏水防止量 2,153m³/日）※計画値 4,200 m³/日
- ・鉛製給水管更新（1,656 件）※計画値 3,000 件

●成果指標

【水道】有効率(%)…(年間有効水量/年間配水量)×100

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 D	評価理由
93.9%	92.4%	96.9%		基準値を下回っているため

●今後の方向性

合併町の老朽施設を引き継いだことのほか、旧市域においても漏水量が増えており、有効率が低下しています。これまでの音聴調査を主体とする漏水調査に加え、漏水探知機の活用範囲を増やし、より多くの漏水発見に努めるなど有効率向上対策を強化します。

1-2 水道施設の機能強化

未普及地区の整備や小規模施設の統廃合により、水道施設の機能強化を図ります。

●平成 25 年度実績

- ・水道未普及地区の整備（旧城南町 6.1km、旧植木町 23.1km など）
- ・老朽化した配水管の布設替え（植木町大和地区、田底地区など）

●成果指標

【水道】給水普及率(%)…(給水人口/給水区域内人口)×100

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 B	評価理由
94.0%	94.3%	98.3%		事業計画のとおり進捗しているため

●今後の方向性

水道施設整備実施計画及び第 6 次拡張事業計画に基づき計画的に事業を進めます。

1-3 水道水質の維持管理

安全安心な水道水を供給するために、水道水質の品質管理を確実にしています。

●平成 25 年度実績

- ・平成 25 年度の水質検査計画に基づく水質検査の実施
- ・平成 23 年度に取得した G L P の中間審査を受け、水質検査の精度管理体制を維持した

●成果指標

【水道】水質基準不適合率(%)…(水質基準不適合回数/年間検査回数)×100

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 B	評価理由
0.2%	0.1%	0.0%		不適合率は順調に減少しているため

※水質基準の不適合については、残留塩素濃度の一時的な低下によるものであり、直ちに改善しています。

●今後の方向性

水安全計画や水質検査計画に基づき水道水の品質管理を確実に実施します。

■基本施策 2 下水道の整備推進及び機能保全

2-1 公共下水道の整備

下水道未普及地区の整備を推進しています。

●平成 25 年度実績

・下水道未普及地区への下水道管布設（熊本地区 148ha、富合地区 7ha、城南地区 15ha、植木地区 5ha）

●成果指標

【下水道】普及率(%)…(処理区域内人口/行政区域内人口)×100

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 B	評価理由
86.2%	87.8%	96.1%		事業計画のとおり進捗しているため

●今後の方向性

下水道未普及地区の整備を計画的に進めます。

2-2 下水道施設の維持管理

下水道管・ポンプ場・浄化センターの長寿命化対策に取り組んでいます。

●平成 25 年度の主な実績

・4 浄化センター及び 7 ポンプ場の長寿命化計画（H26～H30）の策定及び機器の更新
・管渠の長寿命化計画に基づく城東 D 地区（市役所周辺）の管渠更生工事の実施

●成果指標

【下水道】浄化センター・ポンプ場の施設機器の更新率(%)…(H20～29 改築済機器総数/H20～29 改築必要機器数)×100

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H29)	評価 B	評価理由
33.0%	54.4%	100%		事業計画のとおり進捗しているため

●今後の方向性

長寿命化計画に基づき施設の適切な維持管理を行います。

2-3 下水道水質の維持管理

水洗化率（下水道接続率）の向上や放流水質の向上を図っています。

●平成 25 年度実績

・合流式下水道の放流水質向上対策として、中部及び東部浄化センターに雨水滞水池築造工事等の実施
・水洗化率向上対策の実施（説明会時の早期接続促進、未接続世帯への接続勧奨など）

●成果指標

【下水道】合流式下水道緊急改善率(%)…(合流式下水道緊急改善済面積/合流式下水道緊急改善予定面積)×100

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H25)	評価 A	評価理由
19.7%	100%	100%		目標を達成したため

●今後の方向性

合流式下水道の緊急改善事業の完了により、平成 28 年度までに適正な合流下水道改善事業の事後評価を実施する予定です。また、水洗化率の向上を図るため未接続世帯への啓発を継続的に実施します。

※合流式下水道の詳細については、P19 をご覧ください。

■基本施策3 災害に強い上下水道の確立

3-1 総合的危機管理体制の確立

災害時に適切な対応を図るため、危機管理体制の整備を進めています。

●平成 25 年度実績

- ・防災訓練の実施・参加（局防災訓練、市総合防災訓練、九州合同防災訓練）
- ・広域連携体制の強化（19 大都市水道局災害相互応援に関する覚書に基づく意見交換会への参加）
- ・応急給水器具の購入（折りたたみ式応急給水器具 5 基など）

●成果指標

【上水道】災害対策用貯水量（ m^3 ）…災害発生時に飲用水が確保できる量

基準値（H23）	実績（H25）	目標値（H33）	評価 B	評価理由
60,350 m^3	61,350 m^3	68,000 m^3		

●今後の方向性

ハード・ソフト両面から、引き続き危機管理体制の整備を進めます。

3-2 地震対策の推進

水道施設及び下水道施設の耐震化を進めています。

●平成 25 年度実績

- ・基幹管路の耐震化（健軍水源地から健軍自衛隊間、健軍水源地から上下水道局間）
- ・下水道総合地震対策計画に基づく耐震化対策の実施

●成果指標

【上水道】耐震適合性のある基幹管路の割合（%）…（耐震性のある基幹管路延長/基幹管路総延長）×100

基準値（H23）	実績（H25）	目標値（H33）	評価 B	評価理由
67.7%	73.5%	82.0%		

【下水道】管渠耐震化率（%）…（耐震済管渠延長/整備済管渠延長）×100

基準値（H24）	実績（H25）	目標値（H30）	評価 B	評価理由
30.3%	31.5% （基準値）	40.0%		

●今後の方向性

水道施設整備実施計画及び下水道総合地震対策計画に基づき計画的に耐震化を進めます。

3-3 浸水対策の推進

浸水対策重点 6 地区の浸水対策に取り組んでいます。

●平成 25 年度実績

- ・加勢川第 6 排水区（雨水貯留管・調整池）・井芹川第 9 排水区（導水路）の整備

●成果指標

重点 6 地区の対策率（%）…（重点 6 地区の改善済排水面積/重点 6 地区の総排水面積）×100

基準値（H23）	実績（H25）	目標値（H30）	評価 B	評価理由
0.8%	0.8%	100%		

●今後の方向性

重点 6 地区の浸水対策事業については、平成 30 年度の完了を目指します。

基本方針 2 環境に配慮した水循環社会の形成

■基本施策 4 「地下水都市くまもと」の水環境・水循環の保全

4-1 地下水を「育む」取組み

安全な水道水を将来にわたり安定的に供給するため、地下水保全事業や水の有効活用に取り組んでいます。

●平成 25 年度実績

- ・「白川中流域水田を活用した地下水かん養事業」への支援（負担金：22,907千円）
- ・公益財団法人くまもと地下水財団への参画（負担金：24,231千円）
- ・下水処理水の有効活用（農業用水・市電緑のじゅうたん事業の芝生への散水など）

●成果指標

【水道】地下水かん養量(万 m^3)…上下水道局が関与した水田湛水事業による年間の地下水かん養量

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H25)	評価 D	評価理由
671.3 万 m^3	662.9 万 m^3	769 万 m^3		

※かん養量の減少は、少雨による一部事業中断のため湛水延べ面積が減少したことによるものです。

●今後の方向性

引き続き関係機関と連携した地下水保全事業に継続的に取り組んでいくとともに、地下水涵養林整備等の新たな取組みも行っていきます。

4-2 地下水のおいしさを「届ける」取組み

直結給水を推進するとともに、水道水の安全性やおいしさのPRに努めています。

●平成 25 年度実績

- ・直結給水方式の推進（直結給水への普及啓発件数 4,250 件）
- ・水道水の安全性やおいしさのPR（広報紙・ホームページ・出前教室・施設見学など）

●成果指標

【水道】水道水をおいしいと感じる市民の割合(%)…市民へのアンケート調査

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 B	評価理由
81.4%	82.7%	86.0%		

●今後の方向性

直結給水方式の利点等の情報提供を続けることにより直結給水への変更を促すとともに、水道水の安全性やおいしさに関して継続的にPRを行います。

4-3 地下水を自然に「還す」取組み（総合的な污水处理対策）

公共下水道、合併処理浄化槽、農業集落排水のそれぞれの役割分担を踏まえ、関係部署と連携して、総合的な污水处理対策を推進しています。

●平成 25 年度実績

- ・公共下水道、農業集落排水及び合併処理浄化槽の関係部署との連携会議の実施

●成果指標

【下水道】污水处理率(%)…(下水道・合併処理浄化槽・農業集落排水処理の合計人口/行政人口)×100

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 B	評価理由
93.2%	94.8%	99.1%		

●今後の方向性

関係部署と連携し、総合的な污水处理対策を推進します。

■基本施策5 環境負荷低減策の推進

5-1 地球温暖化対策の推進

自然エネルギー（太陽光発電・小水力発電等）の活用などにより、地球温暖化対策を推進しています。

●平成25年度実績

- ・上下水道局新庁舎に太陽光発電設備及びエネルギー管理システム等を設置
- ・戸島送水場において小水力発電設備の設置に着手

●成果指標

【上下共通】自然エネルギー発電量(kwh)

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 B	評価理由
68,090kwh	2,009,000kwh	15,272,000kwh		

●今後の方向性

水道及び下水道の自然エネルギー導入計画に基づき整備を推進していきます。

5-2 資源の有効活用

下水道資源の有効活用やグリーン計画を推進するなど資源の有効活用に取り組んでいます。

●平成25年度の主な実績

- ・消化ガス発電設備（中部浄化センター）・下水汚泥固形燃料化施設（南部浄化センター）を設置
- ・市グリーン計画に基づく取り組み（エネルギー使用量の削減・ごみの減量など）

●成果指標

【下水道】汚泥の有効利用率(%)…(汚泥有効利用量/発生汚泥量)×100

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H25)	評価 A	評価理由
31.3%	100%	100%		

●今後の方向性

引き続き下水汚泥の有効利用率100%に取り組んでいきます。また、消化ガス発電については、東部及び西部浄化センターへの設置を進めていきます。

消化ガス発電事業

下水汚泥が消化タンクで分解されるときに発生するメタンとCO₂を含むガス（消化ガス）を燃料として、発電を行う事業です。

約280万kwh(中部浄化センターの年間電力使用量の約30%)の電力をまかなうことができます。また、1,050ト(CO₂換算)の温室効果ガスを削減できます。



下水汚泥固形燃料化事業

下水を処理するとき発生する汚泥から燃料化物（炭化固形物）を製造し、火力発電所の石炭代替燃料として有価で供給する事業です。

平成24年度まで施設整備を実施し、平成25年度から運用を開始しました。この事業により発生汚泥は100%リサイクル出来るようになりました。

また、年間3,400トの温室効果ガス(CO₂換算、発電時石炭使用量削減によるものも含む)を削減する効果もあります。



5-3 合流式下水道の改善

合流式下水道の緊急改善事業に取り組んでいます。

●平成 25 年度実績

- ・合流式下水道の放流水質向上対策として花畑ポンプ場管渠築造工事の実施
- ・中部浄化センター及び東部浄化センターにおける雨水滞水池築造工事の実施

●成果指標

【下水道】合流式下水道緊急改善率(%) ※再掲

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H25)	評価 A	評価理由
19.7%	100%	100%		

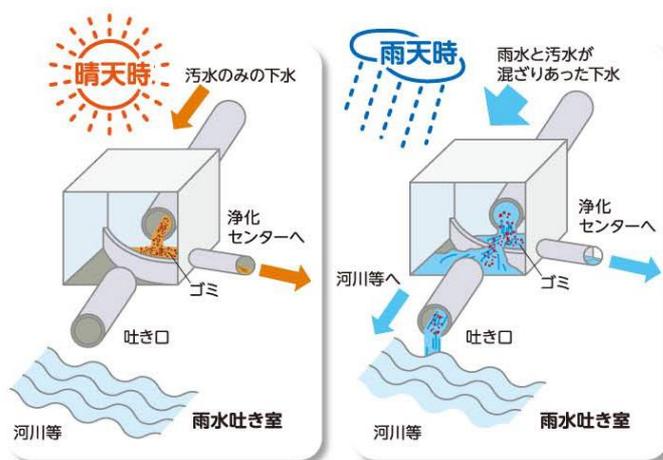
●今後の方向性

合流式下水道緊急改善事業の完了により、平成 28 年度までに適正な合流式下水道緊急改善事業の事後評価を実施します。

合流式下水道の緊急改善

合流式下水道(汚水と雨水を 1 本の管に集めて処理する下水道の方式)は、晴天時は汚水だけが流入するのでスムーズに処理できますが、雨天時には、大量の雨水が流れこむため、能力を超えた下水が浄化センターに流入しないように「雨水吐き口」という施設から雨水と汚水が混ざり合った下水の一部を処理しないまま川へ流さなければなりません。

そこで、より良好な水環境の保全と回復を図るため、貯留管(一時的に下水を管内に貯めておく管)の整備、ポンプ場の能力向上、雨水吐き口へのフィルターの設置などにより、①汚濁負荷量(放流される汚濁量)の削減、②放流回数削減、③きょう雑物の流出抑制を行い、合流式下水道を改善します。



5-4 下水道高度処理の推進

有明海等の水質改善に向けて高度処理に取り組めます。

●平成 25 年度実績

- ・高度処理計画の策定 (事業計画に位置付け)

●成果指標

【下水道】高度処理人口普及率(%)… (高度処理を実施している地域の人口/行政人口) × 100

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H40)	—	評価理由
0%	0%	96.1%		

●今後の方向性

平成 26 年度から「東部浄化センター高度処理施設導入基本設計」に取り組んでいきます。

基本方針3 お客さまを真ん中にした事業運営

■基本施策6 信頼性・利便性の向上と広報・広聴の充実

6-1 お客さまの信頼性・利便性の向上

お客さまの信頼性や利便性の向上に努めています。

●平成25年度実績

- ・上下水道総合管理システムの稼働により、インターネットを利用した給水工事及び排水設備申請が可能となった。
- ・コンプライアンスの徹底（各課で目標を設定し毎月の会議で報告）

●成果指標

【上下共通】上下水道局を信頼できると感じる市民の割合(%)…市民へのアンケート調査

基準値 (H24)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 D	評価理由
55.7%	50.1%	基準値より増加		基準値を下回っているため

●今後の方向性

給水工事・排水設備の電子申請及び給水・下水道台帳の電子申請によるデータ提供サービスが可能となったため、今後の利用を促進するとともに、コンプライアンスの徹底に継続して取り組みます。

6-2 お客さまに身近でわかりやすい情報の提供

広報体制を充実するとともに、適切な情報の提供に努めています。

●平成25年度実績

- ・水の科学館入館者数は目標の100,000人を大幅に上回った(112,480人)
- ・事業評価に関する体制の整備(事業シートの作成等)

●成果指標

【上下水道】上下水道局が提供する情報に満足している市民の割合(%)…市民へのアンケート調査

基準値 (H24)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 D	評価理由
36.6%	27.2%	基準値より増加		基準値を下回っているため

●今後の方向性

上下水道局からの情報提供に満足している市民の割合は27.2%と、基準値を下回っていることから、広報の進め方についてはさらなる工夫が必要と考えています。今後の広報については、民間企業からの提案を取り入れ、効果的かつ戦略的な広報を推進します。

6-3 お客さまニーズの的確な把握

お客さまアンケートの実施等により、お客さまニーズの的確な把握に努めています。

●平成25年度実績

- ・アンケート調査の実施(無作為抽出・イベント・水の科学館など)
- ・ホームページに掲載しているFAQ(よくある質問)の更新

●成果指標

【上下共通】アンケート回答人数(人)…実施したアンケートに対する回答人数

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 A	評価理由
2,736人	2,741人	基準値より増加		基準値を上回っているため

●今後の方向性

今後も継続的にアンケート調査等によりご意見を伺い、お客さまニーズの的確な把握に努めます。

■基本施策7 お客様の参画と水に関わる人たちとの連携・協働

7-1 お客様の施策形成への参画

市民モニター制度の設置など、お客様の施策形成への参画を進めています。

●平成25年度実績

- ・有識者等により構成する上下水道事業運営審議会の開催
- ・市民モニター制度を設置し、会議を開催

●成果指標

※事業の性質上、数値で成果を図ることが困難であるため、成果指標は設定していません。

●今後の方向性

市民モニター制度は参加人数が少ないため、実施方法等については今後検討を行います。

7-2 水に関わる人たちとの連携と協働

熊本地域、地下水かん養域、周辺の水道事業体などと連携・協働して事業を進めています。

●平成25年度実績

- ・地下水保全に関する連携（熊本地域地下水保全対策担当課長会議等に参加）
- ・環境分野・農業分野での連携（硝酸性窒素対策に関し、関係機関と情報共有を図る）

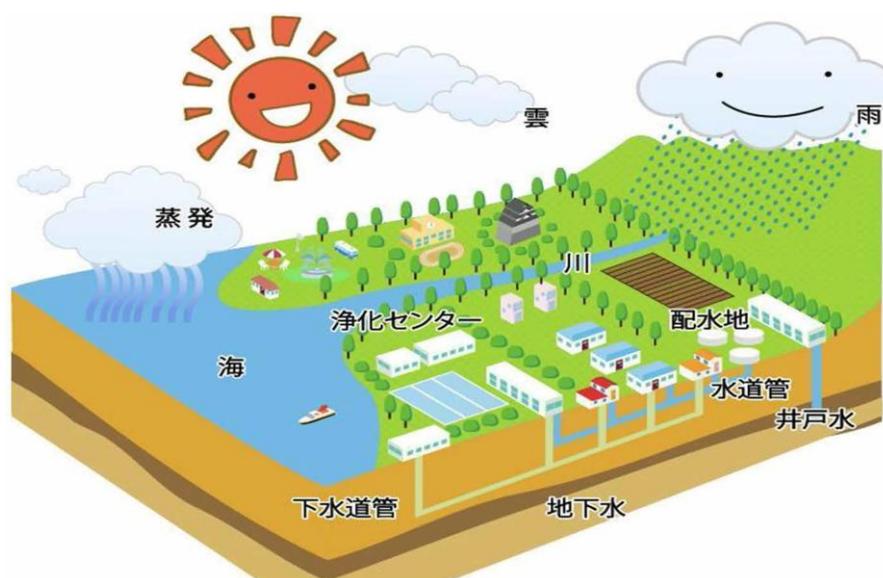
●成果指標

※事業の性質上、数値で成果を図ることが困難であるため、成果指標は設定していません。

●今後の方向性

継続して関係機関と連携・協働して事業を進めていきます。

くまもと地域における水の循環



基本方針4 安定した事業経営

■基本施策8 経営基盤の強化

8-1 中長期的な財政計画に基づく事業経営

財政計画に基づき安定した事業運営を推進しています。

●平成25年度実績

- ・中長期財政見通しの範囲内で予算編成を実施

●成果指標

【水道】企業債残高(億円)

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 B	評価理由
326 億円	338 億円	336 億円		財政計画に基づき順調に減少しているため。

※この成果指標は、平成33年度時点で企業債残高を336億円まで減少させることを目標としています。平成25年度は財政計画に基づき順調に残高が減少したため、「B」と評価しています。なお、平成25年度以降の借入により、企業債残高の増加(目標値を上回る)が見込まれており、今後も計画的な財政運営が必要となります。

【下水道】企業債残高(億円)

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 B	評価理由
1,495 億円	1,489 億円	1,353 億円		財政計画に基づき順調に減少しているため

●今後の方向性

平成25年度決算においては、水道事業・下水道事業ともに黒字を確保しており、今後とも事業評価結果及び中長期財政見通しを踏まえた適切な予算編成を行うことで安定した事業運営を推進していきます。

8-2 コストの削減と資産の有効活用

事務事業経費等の予算シーリングの実施等によるコスト削減に取り組むとともに、資産の有効活用等に努めています。

●平成25年度実績

- ・遊休資産の洗い出しによる施設用地の売却
- ・民間の経営手法の活用(平成25年4月からの東部浄化センターの民間委託)

●成果指標

【水道】収益的収支(百万円)

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 A	評価理由
2,051 百万円	2,298 百万円	965 百万円		財政計画に基づき順調に推移しているため

【下水道】収益的収支(百万円)

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 A	評価理由
941 百万円	1,412 百万円	84 百万円		財政計画に基づき順調に推移しているため

●今後の方向性

今後とも料金収入の逓減傾向は続くものと見込まれ、更なる維持管理費の削減等に努め経営の効率化を図っていきます。また、遊休資産の洗い出し等による資産の有効活用を図っていきます。

8-3 料金、負担金等のあり方

水道料金や下水道使用料などの制度のあり方について検討を行い、公平公正な制度を目指しています。

●平成 25 年度実績

・水道水以外の水使用に対する下水道使用料について、より使用実態にあった料金体系に改正

●成果指標

【水道】収益的収支(百万円) ※再掲

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 A	評価理由
2,051 百万円	2,298 百万円	965 百万円		財政計画に基づき順調に推移しているため

【下水道】収益的収支(百万円) ※再掲

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 A	評価理由
941 百万円	1,412 百万円	84 百万円		財政計画に基づき順調に推移しているため

●今後の方向性

使用人数や使用用途について現況調査を継続的に実施し、届出漏れ等の防止に努めていきます。

8-4 公営企業会計制度見直しへの対応

平成 26 年度から導入予定の新公営企業会計制度に適切に対応します。

●平成 25 年度実績

・経営企画課内にプロジェクトチームを設置し定例会議や分科会を実施

●成果指標

※事業の性質上、数値で成果を図ることが困難であるため、成果指標は設定していません。

●今後の方向性

他都市の予算書、決算書との比較を行うことにより、改めて新会計制度対応への不備等がないか、検証を行っていきます。

■基本施策9 執行体制の整備と人材の育成

9-1 執行体制の見直しと整備

意思決定過程の効率化や定員管理の適正化などに取り組み執行体制の見直しと整備を進めています。

●平成25年度実績

- ・重要事項に関する意思決定の場として、上下水道局経営会議（主管課長以上で構成）を設置
- ・定員管理の適正化（組織の見直し）

●成果指標

【水道】収益的収支(百万円)

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 A	評価理由
2,051 百万円	2,298 百万円	965 百万円		

【下水道】収益的収支(百万円)

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 A	評価理由
941 百万円	1,412 百万円	84 百万円		

●今後の方向性

安定した事業運営を行うため、今後も適宜執行体制の見直しや整備を進めていきます。

9-2 人材の育成

職員研修の充実や人材育成型配置転換の実施などにより、人材の育成を図っています。

●平成25年度実績

- ・研修計画の策定準備
- ・適切なジョブローテーションに基づく人事異動の実施

●成果指標

【上下共通】研修受講率(%)…総務課所管研修受講者/全職員数

基準値 (H24)	実績 (H25)	目標値 (H33)	評価 D	評価理由
48.7%	40.2%	70%		

●今後の方向性

平成26年度中に策定する上下水道局研修計画に基づき、上下水道局の事業及び組織体制に合わせた研修を実施していきます。

9-3 国際貢献

JICA（国際協力機構）等の海外からの研修生受入や上下水道事業に関する技術の提供を通して国際貢献を行っています。

●平成25年度実績

- ・JICA等の海外からの研修生受入（20人）

●成果指標

【上下共通】国際交流延べ人数(人)

基準値 (H23)	実績 (H25)	目標値	評価 A	評価理由
11人	20人	基準値より増加		

●今後の方向性

要請に応じて積極的な研修生の受け入れを行っていきます。

熊本市上下水道事業経営基本計画 平成 25 年度事業評価

1 事業評価について

経営基本計画は、本計画を推進するために「主な取組み」に対応した実施計画、要綱、指針等を作成するとともに、毎年度進捗状況の検証を行い、検証結果をホームページ等で公表することとしている。

事業評価に当たっては、管理者、3次長及び各課長で構成する経営基本計画推進・評価委員会において審議を行うことになっており、今回、評価がまとまったので運営審議会に報告するもの。

2 平成 25 年度結果

※資料（事業シートをまとめたもの）を参照

（1）評価の推移

評価	H25	H24
A（目標達成）	19	7
B（順調に推移）	17	26
C（順調に推移していない）	2	1
D（基準値を下回る）	6	4
評価実施数（※1）	44	38

（※1）25年度から評価を実施する項目があるので、評価実施数は異なるもの。

（2）成果指標の評価について（前年度からの変化）

評価の変化	取組み数
評価が上がった取組み（例 B⇒A）	12
評価が下がった取組み（例 B⇒C）	1
25年度から評価を実施した取組み（例 ー⇒B）	6
変化なし（例 A⇒A）	25

平成25年度 経営基本計画事業シート一覧

※成果指標の評価（A：目標達成、B：目標に向け順調に推移、C：基準値は上回るが順調に推移していない、D：基準値を下回っている）

基本方針・基本施策・主な取組み	成果指標	評価		主な評価理由 (前年度から変化があった指標)	主管課	関係課
		H24	H25			
【基本方針1】上下水道の機能強化						
《基本施策1》水道の整備推進及び機能保全						
1-1	1-1水道施設の維持管理	鉛製給水管率	C	C	水相談課	経営企画課、計画調整課、管路維持課、水運用課
		管路の更新進捗率	B	B		
		有効率	D	D		
1-2	水道施設の機能強化	普及率	B	B	計画調整課	経営企画課、水道整備課、管路維持課、水運用課
		管路の新設進捗率	B	B		
		配水池貯留能力	A	A		
1-3	水道水質の維持管理	水質基準不適合率	B	B	水運用課	計画調整課、水相談課
		水質検査回数率	A	A		
		精度管理試験実施項目数率	A	A		
《基本施策2》下水道の整備推進及び機能保全						
2-1	公共下水道の整備	普及率	B	B	計画調整課	下水道整備課・水再生課
2-2	下水道施設の維持管理	浄化センター、ポンプ場の施設の更新率	B	B	水再生課	計画調整課、下水道整備課、維持管路課
2-3	下水道水質の維持管理	合流式下水道緊急改善率	B	A	計画調整課	給排水設備課、下水道整備課、水再生課
		水洗化率	B	C		
《基本施策3》災害に強い上下水道の確立						
3-1	総合的危機管理体制の確立	災害対策用貯水量	B	B	総務課	全課
		配水池貯留能力	A	A		
		危機管理研修延滞時間	A	A		
3-2	地震対策の推進	耐震適合性のある基幹管路の割合	B	B	計画調整課	水道整備課、下水道整備課、管路維持課、水運用課、水再生課
		配水池耐震施設率	B	B		
		管渠耐震化率	—	B		
		ポンプ場及び浄化センター耐震対策実施率	—	B		H24に下水道総合地震対策計画を策定し、基準値を設定。 H25から評価を実施。
3-3	浸水対策の推進	重点6地区の対策率	B	B	計画調整課	下水道整備課、河川公園課
【基本方針2】環境に配慮した水循環社会の形成						
《基本施策4》「地下水都市くまもと」の水環境・水循環の保全						
4-1	地下水を「育む」取組み	有効率	D	D	水運用課	経営企画課、計画調整課、水相談課、水再生課
		地下水涵養量	D	D		
		再生水の利用水量	—	—		
4-2	地下水のおいしさを「届ける」取組み	水道水をおいしいと感じる市民の割合	B	B	給排水設備課	経営企画課、計画調整課、管路維持課、水運用課
4-3	地下水を自然に「還す」取組み	汚水処理率	B	B	計画調整課	

平成25年度 経営基本計画事業シート一覧

※成果指標の評価（A：目標達成、B：目標に向け順調に推移、C：基準値は上回るが順調に推移していない、D：基準値を下回っている）

基本方針・基本施策・主な取組み	成果指標	評価		主な評価理由 (前年度から変化があった指標)	主管課	関係課
		H24	H25			
《基本施策5》環境負荷低減策の推進						
5-1	地球温暖化対策の推進	自然エネルギーの発電量	—	B	H24に自然エネルギー導入計画を策定し、目標値を設定。H25から評価を実施。	総務課 計画調整課、下水道整備課、水運用課、水再生課
5-2	資源の有効活用	汚泥の有効利用率	B	A	目標（100%）を達成したため。	総務課 計画調整課、水道整備課、下水道整備課、管路維持課、水再生課
5-3	合流式下水道の改善	合流式下水道緊急改善率	B	A	目標（100%）を達成したため。	計画調整課 下水道整備課、水再生課
5-4	下水道高度処理の推進	高度処理人口普及率	—	—		計画調整課 下水道整備課、水再生課
【基本方針3】お客さまを真ん中にした事業運営						
《基本施策6》信頼性・利便性の向上と広報・広聴の充実						
6-1	お客さまの信頼性・利便性の向上	上下水道局を信頼できると感じる市民の割合	—	D	H25から評価を実施。基準値を下回ったため。	料金課 全課
6-2	お客さまに身近でわかりやすい情報の提供	上下水道施設見学者数	A	A	H25から評価を実施。基準値を下回ったため。	経営企画課 全課
		上下水道局が提供する情報に満足している市民の割合	—	D		
6-3	お客さまニーズの的確な把握	アンケート回答人数	A	A		経営企画課 全課
《基本施策7》お客さまの参画と水に関わる人たちとの連携・協働						
7-1	お客さまの施策形成への参画	—	—	—	事業の性質上、数値で成果を測ることが困難であるため、設定していない。	経営企画課
7-2	水に関わる人たちとの連携と協働	—	—	—	事業の性質上、数値で成果を測ることが困難であるため、設定していない。	経営企画課 水保全課、農業政策課ほか
【基本方針4】安定した事業経営						
《基本施策8》経営基盤の強化						
8-1	中長期的な財政計画に基づく事業経営	企業債残高・水道	B	B	目標（117.4%）を達成しているため。	経営企画課 全課
		営業収支比率（水道）	B	A		
		企業債残高・下水道	B	B		
		経常収支比率（下水道）	B	A		
8-2	コストの逡減と資産の有効活用	水道事業会計 収益的収支	B	A	目標（965百万円）を達成しているため。	経営企画課 全課
		下水道事業会計 収益的収支	B	A	目標（84百万円）を達成しているため。	
8-3	料金・負担金等のあり方	水道事業会計 収益的収支	B	A	目標（965百万円）を達成しているため。	経営企画課 全課
		下水道事業会計 収益的収支	B	A	目標（84百万円）を達成しているため。	
8-4	公営企業会計制度見直しへの対応	—	—	—	事業の性質上、数値で成果を測ることが困難であるため、設定していない。	経営企画課
《基本施策9》執行体制の整備と人材の育成						
9-1	執行体制の見直しと整備	水道事業会計 収益的収支	B	A	目標（965百万円）を達成しているため。	経営企画課 全課
		下水道事業会計 収益的収支	B	A	目標（84百万円）を達成しているため。	
9-2	人材の育成	研修受講率	—	D	H25から評価を実施。基準値を下回ったため。	総務課 全課
9-3	国際貢献	国際交流延べ人数	D	A	基準値（11人）を上回っているため。	経営企画課 総務課、計画調整課、下水道整備課、水再生課